



Cisco NX-OS セットアップユーティリティの使用

この章の内容は、次のとおりです。

- [Cisco NX-OS セットアップユーティリティについて, 1 ページ](#)
- [セットアップユーティリティの前提条件, 3 ページ](#)
- [Cisco NX-OS デバイスの設定, 3 ページ](#)
- [セットアップユーティリティに関する追加情報, 8 ページ](#)

Cisco NX-OS セットアップユーティリティについて

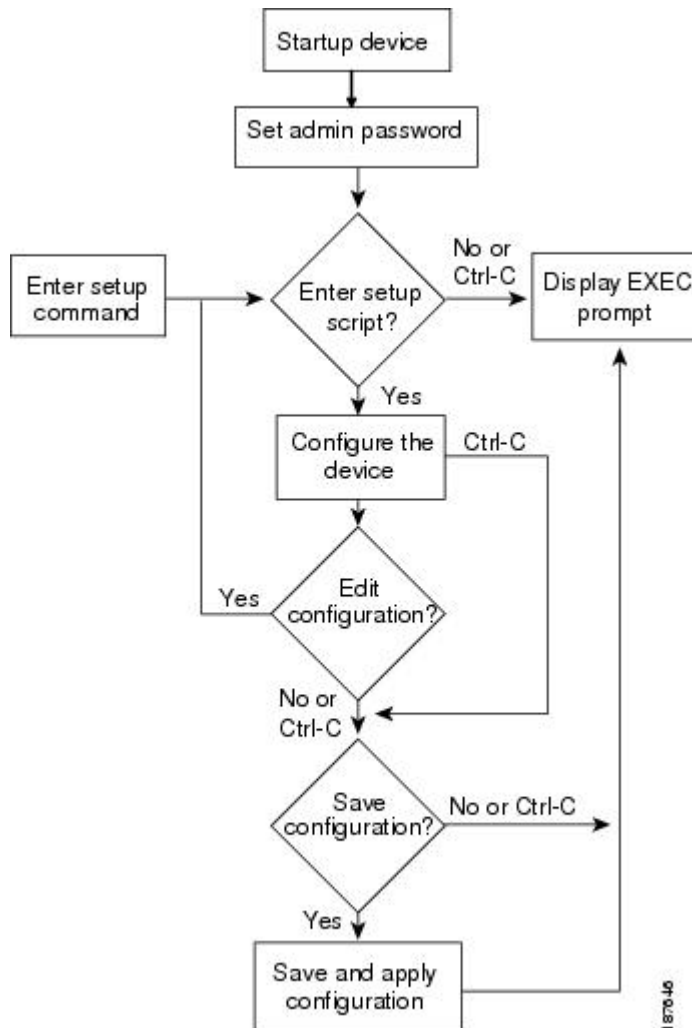
Cisco NX-OS セットアップユーティリティは、システムの基本（スタートアップとも呼びます）設定をガイドする対話型のコマンドラインインターフェイス（CLI）モードです。セットアップユーティリティでは、システム管理に使用する接続だけを設定できます。

セットアップユーティリティでは、システム設定ダイアログを使用して初期設定ファイルを作成できます。セットアップは、デバイスの NVRAM にコンフィギュレーションファイルがない場合に自動的に開始されます。ダイアログによって、初期設定の説明が行われます。ファイルが作成された後、CLI を使用して追加の設定を行うことができます。

任意のプロンプトに対して Ctrl キーを押した状態で C キーを押して、残りの設定オプションをスキップし、その時点までに設定された内容で先に進むことができます。ただし、管理者パスワードはスキップできません。質問に対する回答をスキップする場合は、Enter キーを押します。デフォルトの回答が見つからない場合（たとえば、ホスト名）、デバイスでは以前の設定を使用して、次の質問に飛びます。

次の図に、セットアップスクリプトを開始および終了する方法を示します。

図 1: セットアップスクリプトのフロー



セットアップユーティリティは、設定がない場合にシステムを初めて設定するときに主に使用します。ただし、セットアップユーティリティは基本的なデバイス設定のためにいつでも使用できます。スクリプト内でステップをスキップすると、セットアップユーティリティによって設定値が維持されます。たとえば、すでにmgmt0インターフェイスを設定している場合、この手順をスキップしても、セットアップユーティリティではその設定を変更しません。ただし、ステップのデフォルト値がある場合は、セットアップユーティリティによって設定値ではなくデフォルトを使用して設定が変更されます。設定を保存する前に、よく設定の変更内容を確認してください。



- (注) SNMP アクセスをイネーブルにする場合は、必ず IPv4 ルート、デフォルト ネットワーク IPv4 アドレス、およびデフォルト ゲートウェイ IPv4 アドレスを設定してください。IPv4 ルーティングをイネーブルにすると、デバイスは IPv4 ルートとデフォルト ネットワーク IPv4 アドレスを使用します。IPv4 ルーティングがディセーブルの場合、デバイスはデフォルト ゲートウェイ IPv4 アドレスを使用します。



- (注) セットアップ スクリプトでは IPv4 だけをサポートしています。

セットアップユーティリティの前提条件

セットアップユーティリティには次の前提条件があります。

- ネットワーク環境のパスワード方針があること。
- スーパーバイザモジュールのコンソールポートがネットワークに接続されていること。デュアルスーパーバイザモジュールの場合、両方のスーパーバイザモジュールのコンソールポートがネットワークに接続されていること。
- スーパーバイザモジュールのイーサネット管理ポートがネットワークに接続されていること。デュアルスーパーバイザモジュールの場合は、両方のスーパーバイザモジュールのイーサネット管理ポートがネットワークに接続されていること。
- ライセンスの猶予期間は、必要に応じてイネーブルであること。ライセンスの詳細については、『*Cisco NX-OS Licensing Guide*』を参照してください。

Cisco NX-OS デバイスの設定

セットアップユーティリティを使用して Cisco NX-OS デバイスの基本管理を設定するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1** デバイスの電源を入れます。
- ステップ 2** パスワードの強度確認をイネーブルまたはディセーブルにします。強力なパスワードは、次の特性を持ちます。
- 長さが 8 文字以上である
 - 複数の連続する文字（「abcd」など）を含んでいない
 - 複数の同じ文字の繰り返し（「aaabbb」など）を含んでいない

- 辞書に載っている単語を含んでいない
- 正しい名前を含んでいない
- 大文字および小文字の両方が含まれている
- 数字が含まれている

例 :

```
----- System Admin Account Setup -----
Do you want to enforce secure password standard (yes/no) [y]: y
```

ステップ 3

管理者の新しいパスワードを入力します。

- (注) パスワードが脆弱な場合は (短い、解読されやすいなど)、そのパスワード設定が拒否されます。パスワードは大文字と小文字が区別されます。少なくとも 8 文字以上、大文字と小文字の両方と数字を使用した強力なパスワードを設定してください。

例 :

```
Enter the password for "admin": <password>
Confirm the password for "admin": <password>
----- Basic System Configuration Dialog -----

This setup utility will guide you through the basic configuration of
the system. Setup configures only enough connectivity for management
of the system.

Please register Cisco Nexus 9000 Family devices promptly with your
supplier. Failure to register may affect response times for initial
service calls. Nexus devices must be registered to receive
entitled support services.

Press Enter at anytime to skip a dialog. Use ctrl-c at anytime
to skip the remaining dialogs.
```

ステップ 4 yes と入力して、セットアップモードを開始します。

例 :

```
Would you like to enter the basic configuration dialog (yes/no): yes
```

ステップ 5 yes と入力して (デフォルトは no)、追加のアカウントを作成します。

例 :

```
Create another login account (yes/no) [n]: yes
```

a) ユーザ ログイン ID を入力します。

例 :

```
Enter the User login Id : user_login
```

注意 ユーザ名の先頭は英数字とする必要があります。ユーザ名には特殊文字(+=._-)のみを含めることができます。#記号と!記号はサポートされていません。ユーザ名に許可されていない文字が含まれている場合、指定したユーザはログインできません。

b) ユーザパスワードを入力します。

例：

```
Enter the password for "user1": user_password
Confirm the password for "user1": user_password
```

c) デフォルトのユーザロールを入力します。

例：

```
Enter the user role (network-operator|network-admin) [network-operator]: default_user_role
```

デフォルトのユーザロールの詳細については、『*Cisco Nexus 9000 Series NX-OS Security Configuration Guide*』を参照してください。

ステップ 6 yes と入力して、SNMP コミュニティ スtring を設定します。

例：

```
Configure read-only SNMP community string (yes/no) [n]: yes
SNMP community string : snmp_community_string
```

SNMP の詳細については、『*Cisco Nexus 9000 Series NX-OS System Management Configuration Guide*』を参照してください。

ステップ 7 デバイス名を入力します (デフォルト名は switch です)。

例：

```
Enter the switch name: switch_name
```

ステップ 8 yes と入力して、ライセンスの猶予期間をイネーブルにします。

(注) 猶予期間をイネーブルにすると、ユーザはライセンスが必要な機能をテストできます。猶予期間は120日で、ライセンスが必要な機能を初めて設定したときから始まり、ライセンスのためのすべての機能がディセーブルになったときに終了します。猶予期間が終了した場合は、ライセンスが必要な機能を使用するためにライセンスを購入する必要があります。ライセンスの詳細については、『*Cisco NX-OS Licensing Guide*』を参照してください。

例：

```
Enable license grace period? (yes/no) [n]: yes
```

ステップ 9 yes と入力して、アウトオブバンド管理を設定します。mgmt0 IPv4 アドレスとサブネットマスクを入力できます。

(注) セットアップユーティリティで設定できるのは、IPv4 アドレスだけです。IPv6 の設定の詳細については、『*Cisco Nexus 9000 Series NX-OS Unicast Routing Configuration Guide*』を参照してください。

例 :

```
Continue with Out-of-band (mgmt0) management configuration? [yes/no]: yes
Mgmt0 IPv4 address: mgmt0_ip_address
Mgmt0 IPv4 netmask: mgmt0_subnet_mask
```

ステップ 10 yes と入力して、IPv4 デフォルトゲートウェイ (推奨) を設定します。これで、IP アドレスを入力できます。

例 :

```
Configure the default-gateway: (yes/no) [y]: yes
IPv4 address of the default-gateway: default_gateway
```

ステップ 11 yes と入力して、スタティックルート、デフォルトネットワーク、DNS、およびドメイン名などの高度な IP オプションを設定します。

例 :

```
Configure Advanced IP options (yes/no)? [n]: yes
```

ステップ 12 yes と入力して、スタティックルート (推奨) を設定します。宛先プレフィックス、宛先プレフィックスマスク、およびネクストホップの IP アドレスを入力できます。

例 :

```
Configure static route: (yes/no) [y]: yes
Destination prefix: dest_prefix
Destination prefix mask: dest_mask
Next hop ip address: next_hop_address
```

ステップ 13 yes と入力して、デフォルトネットワーク (推奨) を設定します。この IPv4 アドレスを入力します。

(注) デフォルトネットワークの IPv4 アドレスは、スタティックルート設定の宛先プレフィックスと同じです。

例 :

```
Configure the default network: (yes/no) [y]: yes
Default network IP address [dest_prefix]: dest_prefix
```

ステップ 14 yes と入力して、DNS の IPv4 アドレスを設定します。アドレスを入力します。

例 :

```
Configure the DNS IP address? (yes/no) [y]: yes
DNS IP address: ipv4_address
```

ステップ 15 yes と入力して、デフォルトのドメイン名を設定します。名前を入力します。

例 :

```
Configure the DNS IP address? (yes/no) [y]: yes  
DNS IP address: ipv4_address
```

ステップ 16 yes と入力して、Telnet サービスをイネーブルにします。

例 :

```
Enable the telnet service? (yes/no) [y]: yes
```

ステップ 17 yes と入力して、SSH サービスをイネーブルにします。続いて、キータイプとキービット数を入力します。詳細については、『*Cisco Nexus 9000 Series NX-OS Security Configuration Guide*』を参照してください。

例 :

```
Enable the ssh service? (yes/no) [y]: yes  
Type of ssh key you would like to generate (dsa/rsa) : key_type  
Number of key bits <768-2048> : number_of_bits
```

ステップ 18 yes と入力して、NTP サーバを設定します。これで、IP アドレスを入力できます。詳細については、『*Cisco Nexus 9000 Series NX-OS System Management Configuration Guide*』を参照してください。

例 :

```
Configure NTP server? (yes/no) [n]: yes  
NTP server IP address: ntp_server_IP_address
```

ステップ 19 デフォルトのインターフェイス レイヤ (L2 または L3) を指定します。

例 :

```
Configure default interface layer (L3/L2) [L3]: interface_layer
```

ステップ 20 デフォルトのスイッチポートインターフェイスステート (シャットダウンまたはシャットダウンなし) を入力します。シャットダウン インターフェイスは、管理上ダウン状態になります。詳細については、『*Cisco Nexus 9000 Series NX-OS Interfaces Configuration Guide*』を参照してください。

例 :

```
Configure default switchport interface state (shut/noshut) [shut]: default_state
```

ステップ 21 コントロールプレーンポリシング (CoPP) のベストプラクティスのプロファイルを入力します。詳細については、『*Cisco Nexus 9000 Series NX-OS Security Configuration Guide*』を参照してください。

例 :

```
Configure best practices CoPP profile (strict/moderate/lenient/none) [strict]: policy
```

ここでシステムに、全設定の概要を示し、これを編集するかどうかの確認を求められます。

ステップ 22 no と入力して次の手順に進みます。yes と入力すると、セットアップユーティリティは設定の最初に戻り、各ステップを繰り返します。

例：

```
Would you like to edit the configuration? (yes/no) [y]: yes
```

ステップ 23 yes と入力して、この設定を使用および保存します。ここで設定を保存しておかないと、次のデバイス起動時に設定が更新されません。新しい設定を保存するには、yes と入力します。この手順は、nx-os イメージのブート変数も自動的に設定されることを確実にします。

例：

```
Use this configuration and save it? (yes/no) [y]: yes
```

注意 ここで設定を保存しておかないと、次のデバイス起動時に設定が更新されません。yes と入力して新しい設定を保存し、nx-os イメージのブート変数も自動的に設定されるようにします。

セットアップユーティリティに関する追加情報

ここでは、セットアップユーティリティの使用に関するその他の情報について説明します。

セットアップユーティリティの関連資料

関連項目	マニュアルタイトル
ライセンス	『Cisco NX-OS Licensing Guide』
SSH および Telnet	『Cisco Nexus 9000 Series NX-OS Security Configuration Guide』
ユーザ ロール	『Cisco Nexus 9000 Series NX-OS Security Configuration Guide』
IPv4 および IPv6	『Cisco Nexus 9000 Series NX-OS Unicast Routing Configuration Guide』
SNMP および NTP	『Cisco Nexus 9000 Series NX-OS System Management Configuration Guide』